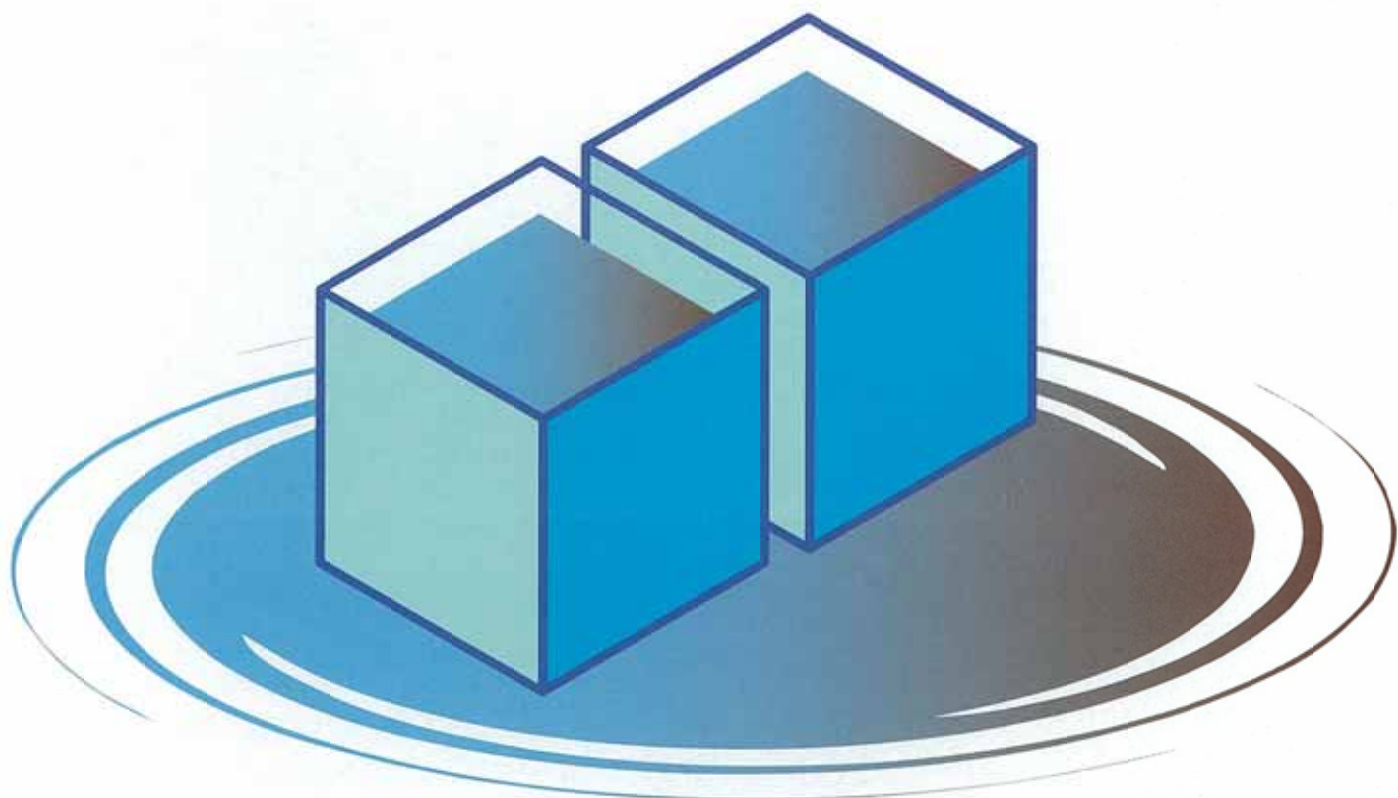


設計・提案～施工～水質分析・メンテナンスまで
ワンストップサービスを提供します



事業系排水処理

低コスト、短工期、高度処理を実現
Clean & Energy-saving technology



事業系排水処理施設の新設・リニューアルに、膜分離を用いた高度な処理技術とシステムをご提案します。

- ✓ 省スペース
- ✓ 低コスト&短工期
- ✓ 高度処理

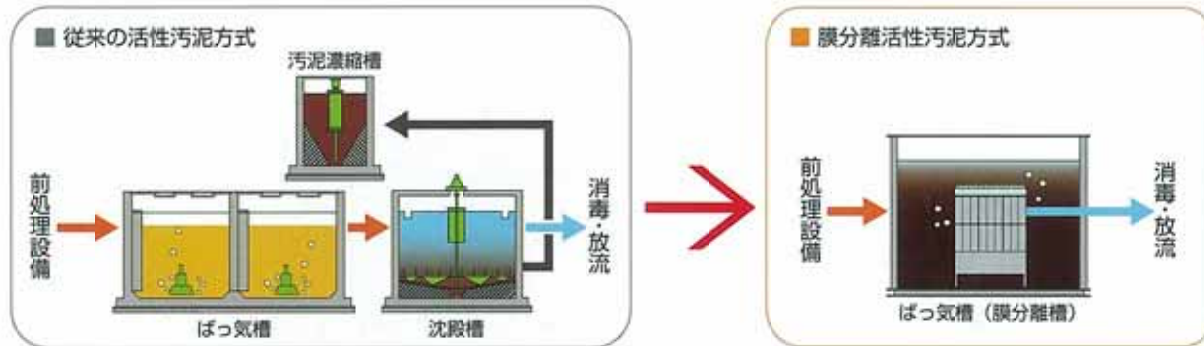
設計・提案～施工～水質分析・メンテナンスまでのワンストップサービスを提供します。

提案例 1 施設の新設

New construction

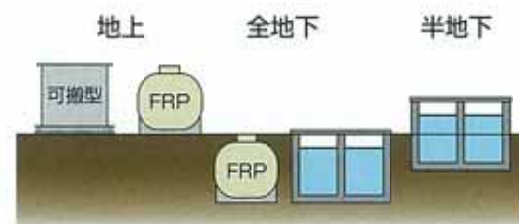
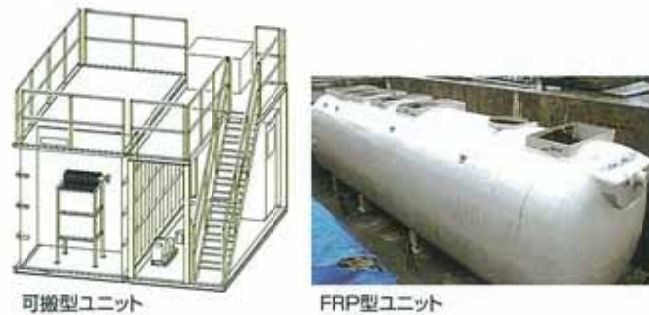
省スペース

- 設置面積は従来の約 2 / 3
- 従来の活性汚泥方式でのばっ気槽、沈殿槽及び汚泥濃縮槽を一つの水槽に集約できます。



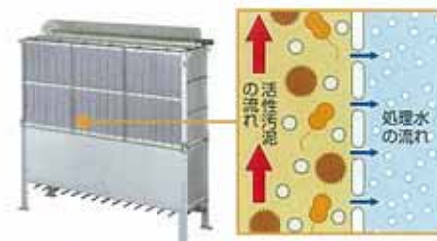
低コスト&短工期

- 一体型ユニット(可搬型・FRP型)の採用で、現地工事を大幅に削減します。
- 従来の活性汚泥方式の難しい汚泥管理が不要で、維持管理が楽に。
- 処理水を植栽の散水や中水として再利用ができます。
- 設置方式も水槽の構造を立地条件に合わせて最適に組み合わせることができます。



高度処理

- 膜分離活性汚泥方式の採用で、将来の規制強化にも安心して対応できます。
- 膜ろ過によるSS(浮遊物)のない高品質で安定した処理水が得られます。
- 環境負荷低減への取り組みを強化できます。



液中膜® ■「液中膜」®は、株式会社クボタの登録商標です。

提案例 2 施設のリニューアル

Renewal

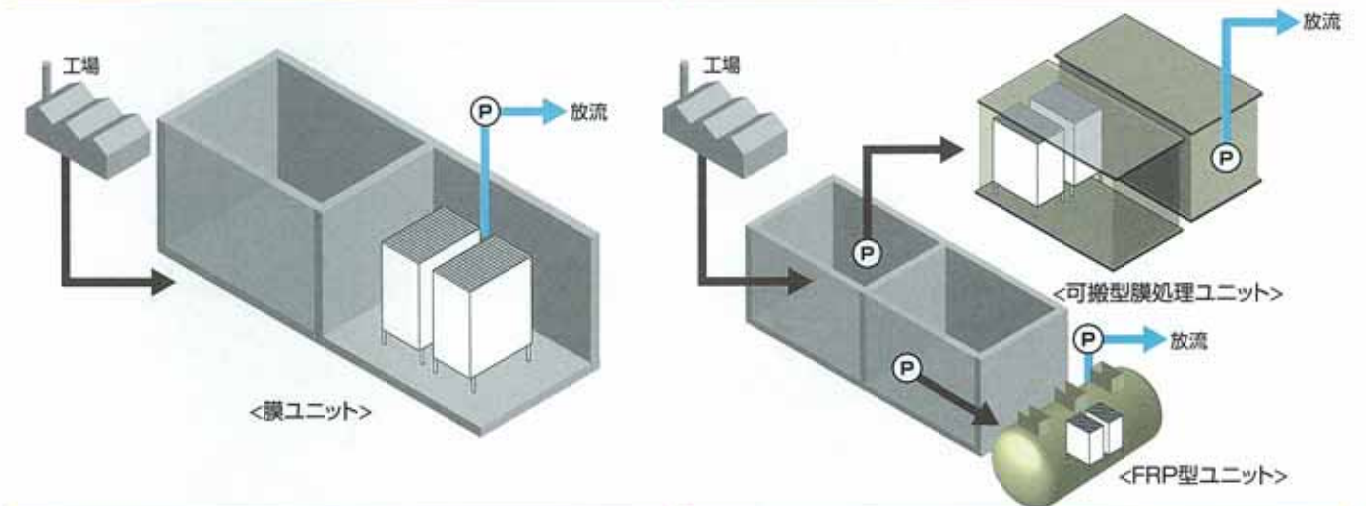
ケース1

「既存の施設を生かして能力アップしたい」

- △ 生産量が増えて排水も増加する...
- △ 規制の強化で基準クリアが難しくなってきた...
- △ 現状の排水処理がうまく機能していない...

提案① 既存のばっ気槽に膜ユニットを設置

提案② 可搬型ユニットの地上設置
FRP型ユニットの埋設



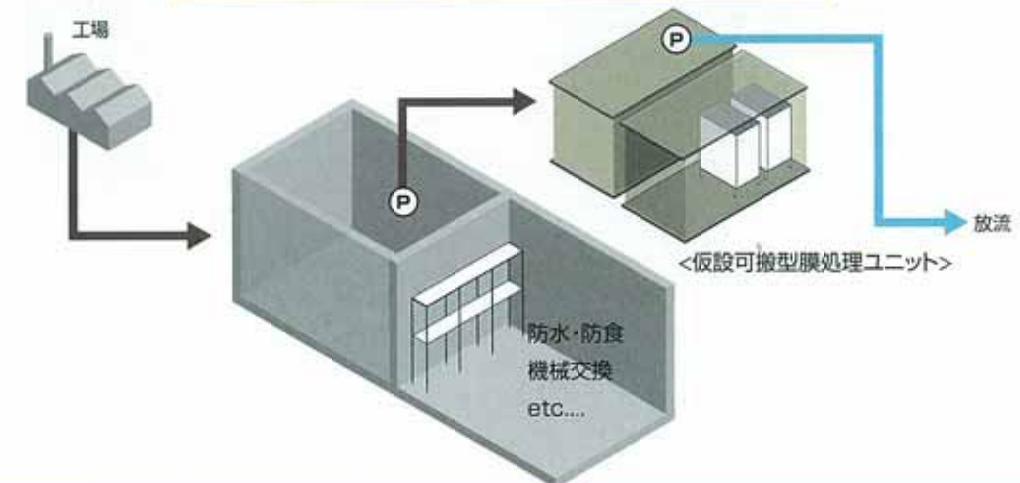
- 処理方式を膜分離活性汚泥方式とすることでばっ気槽汚泥濃度を3倍に設定でき、高負荷への対応が可能に。

- 大きな改造を必要とせず、短期間で機能強化が図れる。
- 地上スペースを駐車場などに有効利用できる。

ケース2

「工場の稼働を止めずに改修工事をしたい」

提案③ 当社保有の仮設可搬型膜処理ユニットを設置



- 当社保有の仮設可搬型膜処理ユニットを設置して排水を代行処理。
- 改修工事と仮設排水処理の両方を一括管理。

膜分離活性汚泥方式適用事例

S社（畜肉加工業）

- 処理規模 : 150m³/日
- 方式 : 油脂分離槽+膜分離活性汚泥方式
(窒素・リン除去型)
- 稼動 : H10.12～(現在まで膜交換なし)



| | pH | BOD | COD | TN | TP | n-Hex | SS |
|--------|---------|------|------|------|------|-------|------|
| | - | mg/l | mg/l | mg/l | mg/l | mg/l | mg/l |
| 流入平均 | 6.5 | 714 | 416 | 63 | 39 | 198 | 253 |
| 処理水平平均 | 7 | 5.6 | 11 | 15 | 2 | 3 | <2 |
| 規制値 | 5.8-8.6 | 20 | 30 | 60 | 8 | 30 | 50 |

(平成11年度平均値)



処理前

処理後

仮設可搬型排水処理ユニット適用事例

S地区農業集落排水処理施設改築工事

- JARUS III→JARUSXIV₆への形式変更
- コンクリート腐食の補修



仮設可搬型排水処理ユニット



改修中の本設



群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896
 支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎 営業所/軽井沢、伊勢崎、川口、茨城、太田、栃木市
 附属施設/大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、教育センター
 ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/

この製品のお問い合わせ先

環境事業部 TEL027-290-1821 FAX027-290-1884



この印刷物は環境に配慮し、大豆インクで印刷されています。



2007/8/1000